

授業改善プラン

地域名	東上総教育事務所	学校名	九十九里町立豊海小学校
-----	----------	-----	-------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○全国学力・学習状況調査において、算数科の「図形」や「データの活用」の領域に課題があることが明らかになった。ICTを活用しながら、図形の構成要素について理解を深めるとともに、学習した内容に基づいて図形を判断したり、説明したりする力を身に付ける必要があると考える。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

○ICTを効果的に活用し、お互いの考えを共有したり、比較検討したりすることで、根拠を基に表現する力の向上を図ることができるだろう。

3. 具体的な実践

○県の施策である『『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』を活用した授業改善を行う。

「見いだす」では、疑問をもたせたり、課題を明確にさせたりする発問の工夫をする。また、具体物やICTを活用し、見通しをもたせる。「自分で取り組む」では、式、言葉、図を結び付けて考えさせ、自分の考えや答えの根拠をもたせる。「広げ深める」では、ICTを活用し、お互いの考えを共有したり、比較検討したりする。「まとめあげる」では、学習の振り返りにおいて、次の学習や今後につながる教科等横断的な視点をもたせる。

4. 成果

○ICTを活用したことにより、図形の構成要素に着目して根拠を基に表現することができた。また、視覚的に共有することで、相手に説明がより伝わって理解につながり、学びを深めることができた。

○ICTを活用したことにより、自力解決の時間をより多く確保することができた。このことにより、児童が新たな考え方に気付き、粘り強く課題に向き合うことができた。

◆担当指導主事から（東上総教育事務所 指導主事 田中 由美）

○図形の学習において、ICTを活用することのメリットが生かされた授業実践が行われた。また、課題を解決していく際に、児童に着目させたい点や根拠を大切にすることなどを指導者が意識して指導にあたり、数学的な見方・考え方を働かせて課題に粘り強く向き合おうとする児童の姿が見られた。